

(タイトル)

神戸電鉄粟生線の利用者増加の提案(2021/12/03)

(意見要旨)

三木市にはひょうご情報公園がありますが、緑が丘駅からコミュニティバスを運行すると、通勤の方の電車利用が増え、神戸電鉄粟生線の利用者が増えると思います。社会実験などを行ってはどうですか。

(回答)

ひょうご情報公園へのバス運行は神姫ゾーンバスが平成 20 年に 1 年間運行を行いました。利用者が少なく採算が合わないため撤退しました。平成 25 年には、入所企業の従業員に対し、通勤手段としてバス路線の利用について調査いたしましたが、利用を検討される方が 1%にも満たなかった経緯がありました。

しかしながら、ひょうご情報公園都市は、現在、次期工区の開発が検討されています。完成後は従業員も増えると見込まれますので、バス路線についても検討していきます。

(担当)

三木市都市整備部 交通政策課

電話 0794-82-2000 (内線 2267)

(タイトル)

新型コロナワクチン 3 回目接種について(2022/01/25)

(意見要旨)

新型コロナワクチン 3 回目接種について、60 歳以下の現役世代の接種を優先する方がいいと思います。

(回答)

新型コロナワクチン接種は、予防接種法という法律で2回目接種完了から6カ月経過後に接種することとされています。三木市では64歳以下の方へ、おおむね6カ月経過後に接種券を発送しています。接種券が届いた方から接種が可能となりますので、届きましたら早めの予約をお願いします。

接種を急がれる事情がある場合は、直接担当までご連絡をお願いします。

(担当)

三木市健康福祉部 ワクチン接種対策室

電話 0794-86-0900

(タイトル)

空きビン回収について(2022/02/20)

(意見要旨)

空きビン回収に使われているドラム缶は、高さがあり、ビンを入れると大きな音がします。皆さん、音が出ないように手を突っ込んで入っていますが、高齢者も増えてきていて危なく感じます。

また、ごみステーションに囲いがあるとカラスなどがゴミを散乱させない効果があると思います。

(回答)

空きビンの収集は、近隣自治体(5市3町)で構成するカレットリサイクル推進連絡協議会で協議を重ね、同じ収集方法を採用して協力することで、経費を抑えながら効率的な空きビンのリサイクルを推進できると考え、現在の運用となっていますので、ご理解をお願いします。

空きビンポスの設置場所や日常の維持管理は地元自治会が行うなど、市と市民が役割を分担しながらごみの減量やリサイクルに取り組んでいますので、ご協力をお願いします。

この度いただいたご意見は、今後の協議の参考にさせていただきます。

(担当)

三木市市民生活部 生活環境課

電話 0794-82-2000 (内線 2380)

(タイトル)

緑が丘スポーツ公園テニスコートについて(2022/03/08)

(意見要旨)

小学生の子供が緑が丘スポーツ公園のテニスコートを利用したいのですが、なかなか予約が取れません。比較的高齢の方がよく使われていますが、土日は子ども優先などにできないですか。

(回答)

緑が丘スポーツ公園のテニスコートは、本市の有料公園施設の中でも人気があり、利用の予約がとりにくい状況で、ご迷惑をおかけしています。

緑が丘スポーツ公園では、現在子ども向けには、土曜日にキッズテニス活動や小中学生無料開放を実施していますが、こちらも予約がとりにくい状況です。施設の利用状況を精査した上で、子どもの優先枠が必要か検討します。

三木市には他に三木山総合公園、吉川総合公園にテニスコートがあります。三木山総合公園では、年齢やレベルに応じたテニススクールなども開催していますので、こちらの利用も検討してください。

また、施設の予約は、市内在住もしくは市内在勤でみっきいネットに登録している方は、優先的に月初めの抽選に参加ができ、仮に抽選に外れた場合でも、先着順で、一般の予約ができますので、利用する前日までにみっきいネットで予約をしてください。当日空きがある場合は、直接窓口で予約してください。

(担当)

三木市都市整備部 都市政策課

電話 0794-82-2000 (内線 2277)

(タイトル)

高校生の通学補助について(2022/03/25)

(意見要旨)

高校生の通学補助はありますか。

(回答)

神戸市が高校生一人につき年間14万4千円を超えた通学定期代の1/2を助成するという報道がありましたが、本市の場合、直ちに同様の制度を導入する予定はありません。他の子育て施策等を実施していく中で、優先順位を考慮し、通学定期代助成の必要性について、総合的に判断していきます。

本市では、全ての市民を対象に、ニコパカード利用によるバスの市内間移動が上限200円のできる「一律運賃制度」を導入しています。通学定期よりもこの制度のほうが安価な料金設定となる方もいるなど、学生も含め、市内間移動については、十分な支援を実施していると考えています。

また、高速バスにつきましては、使える路線や区間に制限はありますが、通学定期がありますので、一度神姫バス株式会社へお問合せください。

また、直接的な通学助成ではありませんが、市教育委員会において、高校生や大学生に対し、学資の一部を援助する奨学金制度を実施しております。所得基準などがありますので、詳細な内容は問い合わせてください。

(担当)三木市教育総務部 教育総務課

電話0794-82-2000 (内線3510)